

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機電動駆動消火ポンプ出入口差圧指示計の指示不良について】 当直員が5号機電動駆動消火ポンプの定例試験において、消火ポンプ出入口差圧指示計の指示値が、許容誤差±0.03MPaのところ、約0.1MPaプラス側にずれていることを確認。 消火系は、当該ポンプの他にディーゼル駆動消火ポンプが待機状態になっており、系統機能に影響なし。 今後、差圧指示計を修理予定。</p>	GⅢ	3月7日
2	<p>【建屋内淡水化装置(A)のスケール防止剤※注入配管フランジ部からの漏えいについて】 協力企業作業員が、停止中の建屋内淡水化装置(A)のスケール防止剤注入配管フランジ部から、スケール防止剤が滲んで滴下し、スケール防止剤タンク堰内に50mm×50mm×1mmの範囲で溜まっていることを確認。当該フランジ部を隔離し滴下が停止したことを確認。 また、漏えいしたスケール防止剤は拭き取り済み。 建屋内淡水化装置は停止中であり、既設淡水化装置により淡水化処理が代替可能であるため、問題なし。 今後、当該配管の点検および交換予定。 ※スケール防止剤: 硫酸</p>	GⅢ	3月9日
3	<p>【第二セシウム吸着装置吸着塔(2A)の自動排出弁ねじ込み部からの漏えいについて】 協力企業作業員が、第二セシウム吸着装置の運転時に、吸着塔(2A)の自動排出弁ねじ込み部から漏えいを確認。 漏えい箇所については、自己融着テープによる補修および袋養生を行い監視強化中。 漏えいはしみ程度であり、設備の運転には問題なし。 今後、漏えい箇所を修理予定。</p>	GⅢ	3月10日
4	<p>【3号機原子炉建屋地下階北東エリアの建屋滞留水の水位上昇について】 当直員が3月9日午後10時頃から、3号機原子炉建屋地下階北東エリアの建屋滞留水の水位が、上昇傾向になったことを確認。 原因は、原子炉建屋1階北東エリアの排水口2箇所が詰まったことにより滞留水が階段部へ流れ、地下階北東エリアに流れ込んだと推定。 1階北東エリアの詰まっていた排水口2箇所の清掃、仮設ポンプによるトラス室への滞留水の移送を実施し、滞留水水位は元の水位へ回復。 滞留水の水位上昇時、地下水水位は建屋内水位を上回っていたため、建屋外への滞留水の流出はないと判断。 今後、原因の深掘りおよび対策を検討。</p>	GⅢ	3月9日